

大子町役場

とねまち 議会だより

あなたと議会を結ぶ広報紙



「とねりん」
利根町観光協会
イメージキャラクター



6月定例会

No. 143

2018.8.3

大子町役場前 (行政視察)

平成30年第2回 議会定例会の議決等結果

会 期 平成30年 6 月 1 日(金)～平成30年 6 月 8 日(金)

審議議案 町長提出議案12件

議案番号	件 名	議決結果	賛否数		議員名及び賛否の別												
			賛成	反対	大越	新井(滄)	石山	花嶋	新井(邦)	坂本	高橋	今井	五十嵐	若泉	石井	船川	
議案第27号	利根町税条例等の一部を改正する条例の専決処分について	承認	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第28号	利根町都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分について	承認	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第29号	利根町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分について	承認	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第30号	平成29年度利根町一般会計補正予算(第7号)の専決処分について	承認	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第31号	平成29年度利根町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)の専決処分について	承認	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第32号	利根町総合振興計画条例	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第33号	利根町医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第34号	利根町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第35号	平成30年度利根町一般会計補正予算(第1号)	原案可決	10	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-
			討論							賛					賛反		
議案第36号	市町の境界変更について	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第37号	市町の境界変更に伴う財産処分に係る協議について	原案可決	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第38号	利根町監査委員の選任について	同意	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

「○」は賛成、「×」は反対、「賛」は賛成討論、「反」は反対討論 を表します。
議長（船川京子議員）は、可否同数などのとき以外は表決に加わりません。



平成30年第2回 議会定例会 議案概要

議案第27号 利根町税条例等の一部を改正する条例の専決処分について……………【承認】

地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、経過措置等について改正したものです。

議案第28号 利根町都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分について……………【承認】

地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、経過措置等について改正したものです。

議案第29号 利根町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分について……………【承認】

地方税法等の一部を改正する政令が公布され、4月1日から施行されることに伴い、国民健康保険税課税額の定義の変更及び課税限度額の引き上げ並びに低所得者に対する均等割及び平等割の軽減措置について改正したものです。

議案第30号 平成29年度利根町一般会計補正予算(第7号)の専決処分について……………【承認】

予算額に歳入歳出それぞれ446万8千円を追加し、総額を54億2,651万2千円とするものです。歳入の主なものは国庫支出金、繰入金の減額と、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方交付税の増額です。歳出の主なものは総務費の減額と、民生費の増額です。

議案第31号 平成29年度利根町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)の専決処分について……………【承認】

公共下水道事業変更計画策定業務委託の繰越明許費について1千円増額し、753万9千円とするものです。

議案第32号 利根町総合振興計画条例……………【原案可決】

総合振興計画の基本構想については法的な義務はなくなったが、本町においては、総合振興計画を町の最上位計画と位置付けるとともに、その策定手続き等について条例で定めるものです。

議案第33号 利根町医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例……………【原案可決】

茨城県医療福祉対策要綱等の改正により小児の対象年齢が拡大されることに伴い、条例を改正したものです。

議案第34号 利根町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例……………【原案可決】

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、条例を改正したものです。

議案第35号 平成30年度利根町一般会計補正予算(第1号)……………【原案可決】

予算額に歳入歳出それぞれ742万3千円を追加し、総額を53億6,406万5千円とするものです。歳入の主なものは財政町政基金からの繰入金で、歳出の主なものは衛生費と教育費の増額です。

議案第36号 市町の境界変更について……………【原案可決】

土地改良事業の実施に伴い、従来の区画に沿った境界を新区画に基づいて変更し、併せて境界変更における面積上の清算を行うものです。

議案第37号 市町の境界変更に伴う財産処分に係る協議について……………【原案可決】

土地改良事業による龍ヶ崎市との境界変更に伴い、当該区画内の土地の処分を協議するものです。

議案第38号 利根町監査委員の選任について……………【同意】

監査委員の選任について同意したものです。



人事案件

▼利根町監査委員の選任について

氏名 ^{いがらし ひろし} 五十嵐 弘

任期 平成30年6月14日から平成34年6月13日まで

◎監査委員とは

自治体は、住民の皆様に行行政サービスを提供するために、公金をはじめとする様々な資産を保有していますが、管理・運用は常に正確で効率的なものでなければなりません。このため自治体に置かれる監査委員は、主として財務に関する事務について法令に違反していないか、効率的に行われているかなどを監査しています。

討 論

第2回定例会に上程された議案等に対し、下記の討論がありました。

〈 議案第35号 平成30年度利根町一般会計補正予算(第1号) 〉

反対討論

石井 公一郎 議員

町長の公約の一つである英語サポート校、これは小さいときから英語に親しむことが大切だと、私もそのようには思います。旧東文間小学校を利用してやっていくと。それでボランティアの先生、現状では募集をしても集まらない。英語サポート校を実施していく上で学校、授業の内容、全部きちんとして、英語サポート校が実施できるような環境を整えて開校するのがベスト。見切り発車のような状態で実施することについては反対します。

賛成討論

坂本 啓次 議員

私は、英会話を親御さんと共に楽しんでいる子供たちの様子を見て、こうした勉強会が継続して実施されることを望みます。また、指導者の方に今後も協力いただけるように、謝礼の意味も含めこの予算に賛成するものです。

賛成討論

若泉 昌寿 議員

確かにボランティアの方で英語サポート教室を開講すると選挙公約にはありました。しかしながら、ボランティアの方が見つからなければ教室を開講できません。小さな子供たちに英語を身につけさせることを最優先に考え、ボランティアが見つかるまでの指導者の報償費に賛成するものです。まずは開校してその後ボランティアの方を見つければ良いと思うので、決して見切り発車とは思いません。

町政のここが聞きたい

一 般 質 問

(このコーナーは、一般質問の一部をお知らせしています。記事は各議員が作成したものです。)

問 栄橋4車線と千葉竜ヶ崎線拡幅について

答 県では事業計画はないとのことです

坂本啓次議員

問 栄橋4車線は無理でも千葉県側の信号、付近、右折道路の拡幅等を千葉県側へ要望してみてもは。

答 布佐駅側の国道356号の通行の見直しで土手側道路の渋滞緩和を考えてくれるよう話し合っていきます。

問 若草大橋の千葉県側の直進道路延伸についてどう考えているか。

答 千葉県側の北総開発鉄道の平行道路国道464号への直結道路建設は栄橋渋滞緩和にも関わることなので、今後とも近隣市町村と連携し取り組んでいきます。

問 取手東線から千葉竜ヶ崎線へのバイパス計画は。基盤整備との関係もあると思うが、中田切地内とニュータウン北側の冠水問題を同時に解決していただきたい。基盤整備計画地内に遊水地を設け冠水しな

問 豊作マラソン大会開催を

答 今後検討していく

若泉昌寿議員

問 利根町の産業は農業米作りです。昭和50年頃より人口増加のため団地を作り約2万1千人まで増加しましたが、その後若い人達は交通の便や働く場所、その他の事情で利根町から離れ、残るは退職した人。町税も年々少なくなり、企業誘致も難しい。そこで、町で生産された米を町外の人に食べてもらえるよう豊作マラソン大会を開催して米のPRをしてみてもはと思いますが、町の考えを伺います。

答 町の産業は農業と思っています。町としては、2月に東京シティエアターミナルで2日間、また、4月22日には成田空港で米のPRを行いました。なお、昨年10月28日の霞ヶ浦総合運動公園でも「茨城をたべよう収穫祭」でPRを行っております。今後さらに6月16日17日にも利根町単独で東京にて米の販売を行います。「豊作マラソン大会」に関しては、実施することは大変難しいが実現できるよう検討します。

い安心な街づくりは出来ないものか。

答 中田切とニュータウンの冠水問題について、基盤整備の機会に解決できるよう行っていきます。取手東線の嵩上については県との協議が進んでいるところです。

問 早尾台バス通りからもえぎ野台への直進道路計画の進捗状況は。

答 国交大臣より基幹道路として指定されたので、県が町に代わり延伸整備事業を実施し、現在、権利調査・地質調査と地元説明会を予定しているとの事です。

問 町道の白線等の剥げについては。

答 道路パトロールにて調査・管理し、白線標識等の剥げも適宜補修していきます。

問 ウエルネス大学が元利根中学校及び旧布川小学校に、土地は借地で校舎を買い開校して今年で7年目になります。開校前の説明では、町発展に貢献してくれる事と思っていたが、過去6年間は町との連携はあまり良くないと多くの方が感じたことと思います。そこで、町長は大学が開校したことをどう捉えていますか。

答 大学が利根町で開校して7年目になるが、これまでは通信制が主でしたが今年は78名が全日制に入学しました。今後も入学してくる全日制が開学したことで、昼間の人口が増加し、町内で暮らす学生も増え経済効果も期待できます。大学で体力維持や健康増進の事業を行っており、さらに、ポールウォーキング講座を開設するなど町民とさまざまな体験で繋がりがあることから、大学の開校は町にとって良かったと思っています。

一 般 質 問

問 住民力ネットワーク化についての考えは

答 ふれあい楽集事業活用で推進していく

石 山 肖 子 議員

問 人的資源を体系的に結び付けるきっかけや仕組みについて町の考えは。

答 生涯学習や子どもたちのために役立つ人材発掘の方法として、現在「ふれあい楽集事業」を活用させていただいている。これまで以上に周知しいろいろな分野で活動する方の登録をお願いする。

また、町がボランティアを活用して事業を実施する場合には、事業の内容等を詳細に示した上で、個別に募集をかけ優秀な人材を発掘し、さらには関係人口も集めていくことを考えている。

総務省の支援活用だけではなく、まちづくりに関するコーディネーター導入については、各課と協議する場があれば検討していきたいと思っている。



問 外部からの人材としての地域おこし協力隊の活用構想は。

答 町外での居住経験や社会経験を持つ人材に、町の新たな魅力発掘と地域活性化につながる活動に従事してもらうことを目的として2名の協力隊員を採用している。

地域おこし協力隊の「そとの目」を財産として捉え、集めた情報は企画課内で共有することにより、今後の施策につなげていこうと考えている。

問 2020年度から必修化される初等教育におけるプログラミング教育の円滑な実施に向けての準備は。

答 夏季休業中の教員研修を計画中である。その後は情報教育主任研修や、指導計画を教育委員会が主体となって進めていきたい。

問 人口減少の抑制について

答 子育て支援等の施策の見直しを行う

大 越 勇 一 議員

問 利根町は平成5年3月末21,010人をピークに年々人口が減っております。2045年、これから27年後、利根町の人口は7,853人まで減少すると推計されます。そこで学校給食の無料化や保育園、幼稚園の無料化など、国がやる前に大胆な政策を打ち出して、子育て支援をいかに充実させるかがこれからの利根町の課題です。また子育て世帯、新婚世帯のために3LDK、70平米、家賃5万円台の定住型促進住宅を建設してはいかがでしょうか。さらに、町の交通網の整備もお願いしたいと思います。

答 人口減少対策としては、「利根町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の子育て支援、教育環境、若者の移住・定住を柱とした各施策や事業の実行と効果検証により、必要な見直しを行ってまいります。また、「魅力あるまち」にすることが人口減少の

緩和に繋がると考えます。定住促進住宅については、現在、移住・定住の受け皿として、空き家バンク、新築マイホーム取得助成金制度を推進している為、今後、民間や公営住宅の動向に注目していきたいと考えております。

問 福祉バスを利用して、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯で生活必需品の購入に支障がある方を対象に、福祉バスで利用者宅を1軒ずつ回り、商店や直売所を巡回する無料の買い物ツアーを週一回、定期的に運行して買い物難民の解消に繋がってはいかがでしょうか。

答 福祉バスは町民の移動手段や日常の交通手段を確保することを目的に、時刻表を基に運行しておりますので、買い物だけに限ったバスツアーを定期的に運行するのは難しいと考えます。

問 もえぎ野台から早尾台への道路延伸計画

答 過疎地域自立促進計画で県の事業で実施 **五十嵐 辰雄 議員**

問 町の道路網は、南北に縦断する千葉竜ヶ崎線と東西に横断する取手東線、立崎羽根野線、美浦栄線を骨格として構成している。もえぎ野台から早尾台へ道路延伸により団地間を結ぶ交通ネットワークが構築され地域の発展に寄与する。過疎地域自立促進計画の中で、当該事業は茨城県が事業主体で2,200万円の調査費が予算措置してあるので、県の年次計画について問う。

答 昨年12月に茨城県過疎地域自立促進計画の中に位置づけられ、基幹的な市町村道路の整備として、過疎代行事業が実施されます。本年度より実施するが、用地の取得や現地の複雑な地形的制約もあるので、調査設計的に明確な事業年次はお答え出来ないのが現状です。町の道路網の骨格となり県が実施する道路整備につき、早期完成に向け協力してまいる所存です。なお

「広報とね」6月号にお知らせを掲載しております。

問 利根町過疎地域自立促進計画に明記してある企業誘致、起業の促進については、自主財源の確保及び雇用の創出を図るために企業誘致は不可欠であると思うが。

答 企業誘致の計画は、本町を含む3市1町の構成市町により茨城県南部地域基本計画を策定し進めております。昨年7月に施行された「地域未来投資促進法」に基づくもので、地域の特性を生かした新たな成長分野を担う事業者に対して、税制、金融等の面で支援を行います。また、重点促進区域として、大平地区の旧ナイルス（株）工場跡地を指定して、町の公式ホームページに物件を掲載し企業誘致と起業の促進を図っております。

問 ランドセルの無償配布について

答 効果がなかったものは検討していく **花 嶋 美清雄 議員**

問 平成31年度に小学校に入学する児童107名に提供するランドセルについて、なぜ再検討することになったのか伺う。

答 再検討すると、誰が言ったのか。限られた予算の中でよりよい、効果の上がるものをやっていく。それが町をよくすることだと考える。誰がやめるといったのか見当がつかない。確かめてから言っていたければ回答できる。

問 保護者が学校教育課に連絡したところ、検討中という回答があったため私も同課へ確認し、同様の回答を得たため一般質問させていただいた。どこから出た話ではなく、私自身が確かめたうえでの質問である。

答 悪いもの、効果がなかったものは切り捨てていかなければならない中で、総合研究会議において、見直した方が良い事業の中に、ランドセル、ヘルメットという意見が出ていた。教育予算事業全体の再検討を今年度行うということで、住民の方には不安を与える言い方をしてしまったと思われるが、現在の事業の一部見直しや縮小、廃止について検討していくとの趣旨である。



一般質問

問 農業競争力強化支援法と種子法廃止について

答 引き続き、現行同様の役割を努める

新井 滄吉 議員

問 私は種子法の問題3回目です。農業問題全くのど素人だった私ですが、この間いろいろ勉強して、種子法廃止がとんでもない問題を孕んでいることに気づいてきました。農業競争力強化支援法には地方行政が66年間税金を使っていろいろ蓄積してきたノウハウをモンサント等に提供しろと法案に明記されているのです。正直言って、モンサントはとんでもない企業です。全世界で証明されているのです。遺伝子組み換えの害はいろいろあるのです。それをモンサントは、危険だと分かっているが隠し続けてきたのです。

最近知ったことですがEUでは0.9%以上遺伝子組み換えを使っていれば表示しなければならない。ところが日本では5%以下は検出できないので表示しなくて良いという消費者庁は表示を検討中とのこと。（この点は質問事項に出していなかったの

で無回答)

多くの地方議会で種子法を守れという決議をしています。北海道、新潟、近隣では常総市、東京では小平市、国立市、秋田、長野その他たくさん出ております。利根町も続きたいものですが町の考えは。

答 種子・種苗について治験を民間事業者提供するということが記載されているが、これらは重要な戦略物資で国内外企業を問わず提供された治験を活用して多様なニーズに対応した品種開発を進めるなど治験がみだりに流出しないよう農研機構などが育成した登録品種を提供する際には、知的財産契約で必要措置を講ずるとの政務官答弁を紹介します。このため、引き続き現行同様の役割を担えるよう努めるという説明がありました。

問 英語サポート校を旧東文間小での実施は

答 最善の方法で、実現に向け努力する

石井 公一郎 議員

問 旧東文間小は廃校になって、すでに10年経過し老朽化が激しい。（電気、水道、教室の改修等）英語サポート校を旧東文間小で開校するには、莫大な費用がかかる。別の町施設（空教室等）を利用すべきである。これから子供たちが少なくなって小中一貫校と言っている中で、費用対効果は。

答 公約の一つの英語サポート校の開校は旧東文間小を生涯学習施設として活用する。改修費用は最大限に抑える。生涯学習センター、公民館の利用者の声は予約でいっぱい利用ができないということで、生涯学習施設として活用する方向に変更。

問 財源確保について、平成30年度一般会計予算で町税は、12億5,631万円、人件費が13億4,547万円と町税で人件費が賄えない状態。ふるさと納税等で財源を確保する具体的にはどうか。

答 ふるさと納税の趣旨を踏まえた上で、多くの方々に町を応援していただき返礼品の充実に努める。二つの宅地を公表し町有地の売却に期待、人件費が1億円以上高くなる。少なくしていくよう努力する。

問 経営体育成基盤整備事業について、農家負担、集約化の進め方はどうか。

答 利根西部地区基盤整備の農家負担は、国のソフト事業に取り組むと10万円、概算で55%以上集積がまとまると助成金。

問 中田切地区の町道111号線が狭く大雨の時など用水から水が溢れ、自動車、子供、高齢者等に危険である。対策は。

答 抜本的な道路整備は西部地区土地改良で、危険箇所は転落防止を実施する。

第7回議会報告会

平成30年4月21日（土）役場多目的ホールにおいて、「第7回議会報告会」を開催しました。議会報告会は、議員活動の状況を町民の皆様に報告・説明するとともに、意見交換の場として開催するものです。

当日は、平成29年度議会議案の総括報告、各常任・特別委員会の報告や質疑応答が行われました。出席議員は12名、町民の方は合計74名のご参加でした。

様々な疑問、質問や忌憚のないご意見、またアンケート結果を踏まえ、今後の議会活動に反映し、これからも情報公開、情報共有化など町民意見の反映の実現化を目指し、議会報告会がより開かれた場となるよう、改善を図って参ります。

ご参加下さいました町民の皆様ありがとうございました。

●アンケートによる参加者の主な意見

- ・ 報告会の内容が複雑なので、説明資料があると分かりやすい。
- ・ 利根町活性化に対する議員提案が強く望まれる。
- ・ 過疎化について真剣に考えてほしい。
- ・ 議会を身近に感じることができた。



議 会 活 動

議 員 活 動

市町村議会議員特別セミナー ～多様化する地域課題～

報 告 石山 肖子 議員

平成30年5月9日・10日、市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）において市町村議会議員特別セミナーを受講しましたのでご報告いたします。今回の市町村議会議員特別セミナーでは「多様化する地域課題」をテーマに4名の講師により、人口減少社会における地域の土地問題、地域づくり、自治体財政健全化、子育て政策について示唆をいただきました。

1. 「深刻な所有者不明土地問題」 講師：増田 寛也 氏
（元総務大臣・(株)野村総合研究所顧問・東京大学公共政策大学院客員教授）
2. 「人口減少社会における地域づくり展望」 講師：牧 慎太郎 氏
（市町村職員中央研修所副学長・総務省地域力創造アドバイザー）
3. 「地方財政の課題」 講師：小西 砂千夫 氏
（関西学院大学院経済学研究科教授）
4. 「人口減少時代に求められる子育て政策」 講師：榊原 智子 氏
（読売新聞東京本社調査研究本部主任研究員）

利根町議会議員行政視察

◎大子町視察

平成30年6月22日（金）全議員12名が、過疎債を活用した事業について先進地の事例等を参考に、当町における予算措置や過疎脱却について調査研究することを目的として大子町役場を視察しました。



◎平成30年度市町村議会議員研修

少子高齢、人口減少の進展が著しい中、「2025年問題」を見据え、現在の状況や制度を理解し地域の特性に応じた「地域包括ケアシステム」のあり方について研修することを目的とし、標記研修が平成30年7月4日（水）～6日（金）に滋賀県大津市にある全国市町村国際文化研修所にて開催されました。当町からは、新井滄吉議員が参加しております。

行政視察受入

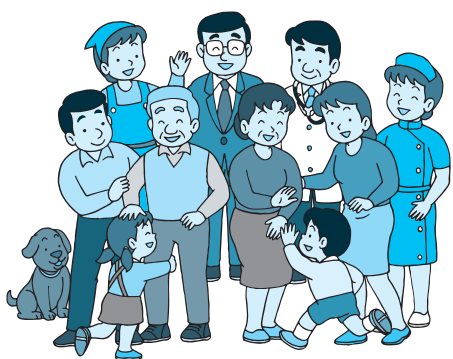
他自治体の議会議員が当町に視察に訪れ、事業及び施策などを視察されました。

平成30年4月18日

北海道上富良野町議会
(厚生文教常任委員会)

【研修内容】

- ・地域包括支援センターについて
- ・地域包括ケアシステムについて



お詫びと訂正のお知らせ

とねまち議会だより No.142（平成30年5月2日発行）の6ページ及び7ページ「平成30年度利根町国民健康保険特別会計予算」の記事に誤りがございました。下記のとおり訂正させていただきます。大変ご迷惑をお掛け致しましたこと深くお詫び申し上げます。

平成30年度利根町国民健康保険特別会計予算

事業勘定予算の歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ23億5,667万円で、前年度より4億1,731万円の減です。平成30年度から制度改革により県が財政運営の責任主体となり、国保は県と市町村の共同運営に変わります。規模を大きくすることで、運営のリスクを分散し財政を安定化させることが狙いです。また、都道府県の役割を強化し市町村間の保険料格差をなくしていくことを目的としております。

歳入の主なものは、国民健康保険税3億9,801万8千円で、被保険者数の減少から前年度より4,348万8千円の減、県支出金が16億6,792万円で、国保制度改革によって保険給付費が全額県から交付されることから大幅な増です。

歳出の主なものは、総務費が5,314万8千円で前年度より824万9千円の減、保険給付費が16億2,432万4千円で前期高齢者の増加に伴い医療費の増加が見込まれることから、前年度より1,957万4千円の増、国民健康保険事業費納付金は、平成30年度の国保制度改革で新設されたもので、予算額は6億3,897万2千円の計上です。保健事業は、3,321万7千円で、前年度より28万2千円の増となっております。なお、平成30年度の国保税の税率は、財源不足を基金の取崩しにより、税率の見直しは行わず、現行税率を据え置くことにしています。

直営診療施設勘定予算の総額は、1億1,705万1千円で前年度と比較し、1,152万3千円の増です。歳入は、診療収入の9,452万2千円で、全体の80.7%です。後期高齢者診療報酬の収入の増加により、前年度より642万円の増です。歳出は、総務費が9,211万6千円で、職員給与費の増加により前年度より831万3千円の増、医業費は2,393万4千円で、医療用衛生材料費の増加により、前年度より321万円の増です。

発行責任者 利根町議会議長 船川 京子

利根町議会日誌（平成30年 4・5・6月）

活 動 内 容	
4 月	
7	第7回利根さくらまつり開会式
8	平成30年度日本ウェルネススポーツ大学入学式
〃	消防団本部並びに利根消防署合同歓送迎会
9	町立小中学校入学式
12	議会広報編集委員会
〃	利根地固め唄保存会設立30周年祝賀パーティー
18	平成30年度市町村長・市町村議会議長会議
21	第7回利根町議会報告会
22	第39回利根フレッシュタウン自治会定期総会
24	平成30年度利根町観光協会総会
27	平成30年度利根町区長会総会
5 月	
7	女性議員による意見交換会
8	平成30年度利根地固め唄保存会通常総会
10	龍ヶ崎地方衛生組合及び稲敷地方広域市町村圏事務組合関係市町村長・議長意見交換会
11	平成30年度第37回利根町老人クラブ連合会ゲートボール大会
12	平成30年度利根町PTA連絡協議会総会
14	平成30年度成田線活性化推進協議会定期総会
15	平成30年度利根町老人クラブ連合会総会
18	平成30年度利根町遺族会総会
21	利根町社会福祉協議会総務部会
〃	平成30年第1回定例会(町村議会議長会議)
22	第34回利根町手をつなぐ育成会総会

活 動 内 容	
5 月	
22	県南町村議会議長会
23	議会運営委員会
24	平成30年度取手地区防犯協会総会
〃	平成30年度利根町商工会通常総会
25	平成30年第1回稲敷地方広域市町村圏事務組合議会臨時会
26	町立小学校運動会
28	平成30年度町村議会議長・副議長研修会
31	平成30年度利根町社会福祉協議会第1回理事会
〃	平成30年度つくば農業改良推進協議会総会
6 月	
1	平成30年第2回議会定例会（～8日）
7	厚生文教常任委員会
8	全員協議会
12	平成30年度第14回いきいきクラブ利根（老連）グラウンドゴルフ大会
19	平成30年度茨城空港利用促進等協議会総会
20	利根町民納涼花火大会実行委員会
21	平成30年度霞ヶ浦二橋建設促進期成同盟総会
22	大子町行政視察研修会
26	平成30年度利根町社会福祉協議会第1回評議員会
〃	平成30年度利根地区法人会通常総会
28	平成30年度利根町文化協会理事会（総会）
〃	龍ヶ崎地方衛生組合議会全員協議会

お 知 ら せ

町議会を傍聴してみませんか

議会は町政の一端を知る絶好の場です。町政の実態を知るために、また、住民の皆様が選んだ議員が何を今どのように質疑し審議をしているかを知るためにも、ぜひ議会の傍聴にお出かけください。

今回の6月定例議会の傍聴者は延べ81名でした。

次回の定例議会は9月4日（火）から開催予定です。傍聴の予約は不要です。

町議会の詳細は議会会議録で

この「議会だより」は、町議会で行われた議論等の内容を要約してお知らせしております。もっと詳しく知りたい方は、「利根町議会会議録」をご利用ください。

議会会議録は、町立図書館と役場1階エレベーター前の資料閲覧コーナーにあります。

利根町ホームページ（<http://www.town.tone.ibaraki.jp/>）でも見られます。

発行／利根町議会・議会広報編集委員会

〒300-1696 茨城県北相馬郡利根町布川841-1

TEL 0297-68-2211 FAX 0297-68-7990

発行責任者／利根町議会議長 船川 京子

編集担当／花嶋 美清雄・今井 利和